

令和3年度生野区区政会議(第3回全体会)  
 いただいた主なご意見等(要約)と区の考え方、対応

開催日:令和4年3月7日(月)

場所:生野区役所6階 大会議室

発言者	ご提言(要約)	区の考え方、対応(要約)
北口(充)委員	<p>防災訓練など、避難所の距離や時間の確認や避難所の設置の仕方の確認を地域の力を合わせて行うことが必要。</p>	<p>災害時、行政による対応には限界があるため、地域の住民同士で助け合い、行動することが被害を最小限にするために重要となります。</p> <p>そのため、安否確認の方法や災害時の避難方法や、防災無線など災害時に使用する各種機材の取り扱い方法の習得、避難所の開設・運営など、様々な訓練を日ごろから実施することによって、地域の防災力を高めていくことが必要です。区役所では、地域の防災訓練において様々な支援を行っておりますので、例えば町会単位の実施など、開催方法や内容について、防災担当までご相談ください。</p>
永松委員	<p>生野未来学園の制服について、LGBTQに配慮したではなく、多様性に配慮したという説明をしてほしいと言っていたがLGBTQに配慮したという説明になってしまっていた。広報は伝わらなければ意味がないのでそこをもうすこしうまくやってほしい。</p>	<p>学校再編に伴う標準服等の見直しにつきましては、各中学校区の学校適正配置検討会議等におきまして、検討会議委員の皆さまと意見交換しながら仕様等について検討し、委員にもご参加いただいた生野中学校区につきましても、同様に検討を進めた後、各小学校で標準服等のサンプル展示を実施した際には、標準服等の仕様がLGBTQへの配慮に対してだけではなく、すべての児童生徒、ご家庭の意思により、標準服等を選択できる旨をご紹介させていただいたところではあります。</p> <p>しかしながら、委員ご指摘のとおり、検討してきたことを、正確、かつ必要な内容をしっかりとお伝えできなければ、意味があるものになりません。今後につきましては、委員のご指摘を真摯に受け止め、正しくかつ十分にお伝えできるような広報に努めてまいります。</p>
大藤委員	<p>高校生が退学をした時に、リチャレンジができる環境が必要。将来その子がアンダーな部分に陥らないように区役所にも手助けできる窓口があることを教えてあげてほしい。</p>	<p>大阪市では、高校を中退した方などの支援として、「大阪市若者自立支援事業コネクションズ大阪」などを紹介するほか、市立高校を中退した方を新たな進路につなぐため、本人・保護者から同意書もらったうえで、区役所の支援につなぐ仕組みがあります。</p> <p>また、高校生の支援のみならず、「生野区くらしの相談窓口いくの」の窓口においては、「子ども自立アシスト事業」を実施しており、中学生と保護者の進路や日常生活の相談にのり、子どもの社会的自立を支援しています。</p> <p>区としましては、リチャレンジしたいと考えておられる方々に、広報紙やHP、チラシのほかSNSなども活用して、支援の窓口を広く周知し、適切な支援につないでいきます。</p>
前田委員	<p>多世代交流をすすめ、核家族化が進む中で、大人の方と接する機会が子どもたちで大変減っている。そういった機会とか居場所をどんどん増やしていただいて、子どもたちがやりたいことを見つけたときに、それを実現できる、サポートできるような居場所があるまちになればいいな、と思う。</p>	<p>—</p>
船方委員	<p>やさしい日本語をもう少し広めるような仕組みを作してほしい。</p>	<p>現在も区内イベントや小中学校、高校の授業での啓発、また新聞や雑誌への記事掲載等のPRに努めており、今後も引き続き、より工夫した啓発・PRを続けてまいります。</p>
山崎委員	<p>オンデマンドバスについて、区民に浸透していない。今後どのように広めていくかということに重点をおいてほしい。</p>	<p>認知度向上に向けて、引き続き、運行事業者のOsakaMetroと連携し、各種会議やイベントでのPR、区広報紙や区ホームページへの掲載、SNSを活用した紹介などのほか、地域におけるスマートフォンによるオンデマンドバスの予約方法説明会や高齢者向けのスマートフォン講座の開催支援などを行ってまいります。</p>

発言者	ご提言(要約)	区の考え方、対応(要約)
宮崎委員	<p>生野区は暗いイメージがあるので、もう少し明るいまちになればいい。</p> <p>そこで、勝山通を第2の御堂筋にして、イルミネーションを付けたらどうか。</p> <p>生野区の銭湯も急激に減ってきているのでボイラーを交換する時に半分助成するとか、老人パスを銭湯でも使えるようにしたら良い。</p>	<p>行政情報に限定せず、地域のまちづくりに関するさまざまな活動主体の取り組みを「生野の魅力」として積極的に発信することで、「生野ファン」を増やすため、官民連携した生野区シティプロモーションを今後も続けて実施してまいります。</p>
倉本委員	<p>若い方に地域活動に参加してもらえるようにするにはどうしたらいいのか、考えていきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会は、市民の皆様の身近な存在として、住みよいまちづくりと地域の活性化に向けて様々なコミュニティ活動を展開いただいています。</li> <li>・区役所は引き続き、市民の皆様へ町内会の意義・活動をお伝えするとともに、チラシの配布や各種媒体による広報協力などを行って参ります。</li> </ul>
廣川委員	<p>空き家データの見える化。地域で活動している人たち・民間業者のPRを区役所としてもっと積極的にするべき。</p>	<p>区内で空き家利活用をしている民間団体「生野区空き家活用プロジェクト運営委員会」が持つ「空き家バンク」や、事業連携協定を結んでいる「株式会社スペースマーケット」及び「akippa株式会社」のプラットフォームを活用するなど、空き家データの見える化や情報発信を行うとともに、行政が民間の活動を支援していく形が望ましいと考えています。</p>
三浦委員	<p>生野未来学園の新しい制服が無料でありがたい。疎開道路の玉出と生野中学の間に新しくできた道路が危ないので信号とかできないのか。</p>	<p>委員ご指摘の地点につきましては、信号設置につきまして、生野警察署にも相談させていただいたところ、現状、疎開道路は交通量の多い主道路で、新しくできた道路は交通量の少ない従道路であるため、信号機設置基準を総合的に勘案すると、現時点において設置は難しいとお聞きしています。</p> <p>学校再編に際して新たに通学路を設定する場合、学校再編に係る学校の校長の意見をふまえ、通学路案を作成し、地域や保護者に参加いただき意見聴取する学校適正配置検討会議の中でご意見をいただいております。具体的には、保護者や地域の方と一緒に現地を歩いて確認のうえで、新通学路のルート及び安全対策について意見をいただき、新通学路を決定しているところです。</p> <p>生野未来学園の通学路については、疎開道路は信号機のある交差点を渡ることとしています。また、児童生徒への安全教育も行ってまいります。</p>
洪委員	<p>生野区は魅力的な街なので魅力をもっと発信してはどうか。例えば生野留学など。</p>	<p>行政情報に限定せず、地域のまちづくりに関するさまざまな活動主体の取り組みを「生野の魅力」として積極的に発信することで、「生野ファン」を増やすため、官民連携した生野区シティプロモーションを今後も続けて実施してまいります。</p>
柴田委員	<p>防災無線の訓練の必要性と防災無線以外の連絡網の必要性。</p>	<p>災害時、行政による対応には限界があるため、地域の住民同士で助け合い、行動することが被害を最小限にするために重要となります。</p> <p>そのため、安否確認の方法や災害時の避難方法や、防災無線など災害時に使用する各種機材の取り扱い方法の習得、避難所の開設・運営など、様々な訓練を日ごろから実施することによって、地域の防災力を高めていくことが必要です。区役所では、地域の防災訓練において様々な支援を行っておりますので、例えば町会単位の実施など、開催方法や内容について、防災担当までご相談ください。</p>

発言者	ご提言(要約)	区の考え方、対応(要約)
川口委員	<p>コロナ渦における地域事業の再開の仕方とほかの地域でどのように事業をおこなっているのか、どのようにしたらいいのか考えてほしい。</p>	<p>大阪府内において、令和4年4月24日までは「年度替わりの集中警戒期間」とされ、マスクの着用や手洗い、こまめな換気など、基本的な感染防止対策の徹底を区民の皆様に引き続きお願いしているところです。</p> <p>地域事業の再開につきましては、大阪府からイベント主催者に対して作成等が要請されている「感染防止策チェックリスト」なども参考にいただきながら、状況等に応じたご判断をお願いいたします。</p>
森本委員	<p>いくみんのほんだなをツールとして行き場づくりをしてほしい。</p> <p>またいくみんのほんだなの多言語バージョンを作成して、配架している施設に行くと母語に出会えるようにしてもらいたい。</p> <p>区政に関する区民アンケート調査を継続し分析して行ってほしい。</p>	<p>昨年度に引き続き、今年度も子育て支援センター・つどいの広場の方々のご協力のもと、絵本ダイアリー「いくみんのほんだな」を作成いたしました。</p> <p>絵本を通して子どもの情緒面での発育を促すほか、豊かな親子関係を育むことを目的としています。また、委員のご意見がありましたように、区内の子育て支援センターやつどいの広場で、子育て中の保護者の方との交流や、気軽に子育ての相談をしていただくなどのきっかけとなればと考えています。</p> <p>今後、外国語版の「いくみんのほんだな」につきましては、子育て支援会議の中で検討を重ね、多くの方々に喜ばれるよう一緒に考えていきたいと思っております。</p> <p>また、今後も毎年度実施する区政に関する区民アンケート調査を、運営方針の振り返り等の時期に、継続して分析してまいります。</p>
川中委員	<p>多文化共生について、伝えるというだけでなく、聞くという取り組みにも注力していったほうがいいのではないかと。</p> <p>防災については、災害関連死を防ぐために避難所の運営に注力していなければならぬ。</p> <p>地域活動の担い手については、地元の小中高生に地域活動に参加してもらってはどうか。</p> <p>教育では、学校の先生の成長、学習、チャレンジをどのようにサポートしていくかということも大事。</p> <p>防犯については、被害者にならないためにということも大事だが、加害者にならない取り組みも大事になってくる。</p> <p>教育に管理連する指標で「人の役に立つ人間になりたいか」という質問は「自分の存在を肯定できるのか、多様な人々とともに生きていけるのか」といった観点でのポイントで聞くことが必要。</p>	<p>(多文化共生)</p> <p>これまで当事者である外国人住民、区内支援者・団体などと意見交換する「多文化カフェ」の開催や、やさしい日本語協力店との連携、広報紙記事での取材など、工夫して取り組みを行ってまいりますが、今後も、より工夫し取り組みを進めてまいります。</p> <p>(防災)</p> <p>避難所の運営については、本市の避難所開設・運営ガイドラインに沿って作成された地区防災計画において、避難者居室のほか、要配慮者や男女等のニーズにも考慮したスペースを設定しています。また、福祉施設等との福祉避難所協定締結を進めるほか、段ボールベッドや間仕切りの供給を速やかに行うための事業者との協定締結、人の派遣や物資・車両・機材などを提供いただける災害時協力事業所・店舗等の登録制度も実施しています。</p> <p>なお、自宅での安全確保が可能な場合の在宅避難や、安全な親戚や知人宅への避難についてもご検討いただくよう周知しています。</p> <p>(防犯)</p> <p>生野区では防犯標語「おこのみやき」を楽しく遊びながら覚えるための、めんこゲーム「ガチ☆メン」を考案し、小学生を対象に啓発に取り組んでいます。</p> <p>地域の人同士声をかけあいつながっていること、仲間を作って助け合うこと、などをわかりやすい標語で覚えることにより、地域でのつながりの中で防犯意識を醸成し、こども達が健やかに成長することを目指しています。</p> <p>また、警察などの関係機関、関係団体とも連携し、地域ぐるみで非行防止や犯罪のおこりにくいまちへの取り組みを進めてまいります。</p> <p>(教育)</p> <p>「学校の先生の成長、学習、チャレンジをどのようにサポートしていくか」という点につきまして、教育委員会におきましては、教員の成長を支えるべく、「教員の資質の向上に関する指標」のもと、段階的計画的に研修を進めています。その進捗については、教員個々においても客観的に把握できるようにし、今後身に付けるべき資質や技能を明らかにして力量の向上に努められるようにしております。とりわけ、教員の根幹となる授業力の向上や子ども理解については、OB校長などの教育指導員が直接的に教員の力量向上に携わっております。併せて、学校にはスクールサポートスタッフ等、教員をサポートする人員を配置することにより、教員の負担軽減を図り、教員一人一人が授業の準備やスキルアップに取り組めるよう配慮しております。</p> <p>生野区の取組といたしましては、小規模な学校におきましては、教職員数も少なくなり、学校運営に関して、同学年担当教員による学年共通の指導方法の高め合いができないといった課題もあることから、小規模校の多い生野区西部地域におきまして、学校の再編に取り組ん</p>

発言者	ご提言(要約)	区の考え方、対応(要約)
		<p>でまいりました。</p> <p>また、「生きるチカラまなびサポート事業」におきまして、学校に外部講師を派遣し、児童・生徒に対する出前授業を実施しています。先生たちからも、講師の授業を見て、専門的な知識・スキルを得られた、教え方など参考になったとの声をいただいています。また、教員向けの研修も実施できる事業ですので、今後も学校で利用していただけるよう促してまいりたいと考えています。</p> <p>子どもたちが自尊感情を醸成し、将来の夢や目標を持って成長していけるようキャリア教育が重要であると考え、「生きるチカラまなびサポート事業」などを実施しているところですが、委員ご指摘のとおり、「人の役に立つ」ためには、自己肯定感や多様性を尊重する意識の醸成ということも重要であると認識しています。同事業の生徒アンケートで、「自分によいところがあるか」「自分の存在を大切だと思うか」「相手への思いやりは大切だと思うか」との項目も設けておりまして、今後もそういった観点も踏まえまして、子どもたちへの成長に資するよう取り組んでまいります。</p>
北口(英)委員	<p>まちの高齢化がすすんでおり、独居されている方が増えているのでその方たちが孤立しないような取組みを考えていきたい。</p>	<p>社会的孤立は大きな課題となっています。地域住民の小さな気づきを、いち早く支援につなげるための地域住民同士のネットワークづくりが大切です。</p> <p>本市からの業務委託である「地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業」では、生野区社会福祉協議会の「見守り相談室」に福祉専門職であるコミュニティソーシャルワーカー(CSW)を配置し、高齢者・障がい者・難病等見守りの対象となる方に対して、見守り希望の有無をご本人に確認し、希望者の情報を活用して見守りを行っています。</p> <p>また、区民の方からの相談を受けた場合は、地域包括支援センター、見守り相談室、民生委員等と情報共有しながら対応を行っています。</p>
橋野委員	<p>疎開道路の鶴橋周辺で歩道と車道の区別がないところがある。とても危険な状態なのでラインを引いてもらうとかそういう。</p>	<p>関係行政機関等との情報の連携を行ってまいります。</p>
加藤委員	<p>防災無線について、西生野地域では盆踊りや夜警の行事時にしょっちゅう使っていて、使う場面があれば使えるようになる。</p>	<p>—</p>
大倉委員	<p>区政会議で出した意見が区政に反映されていないのではないかと思う。</p> <p>学校再編について、行政の最初からの計画通り進められ地域や保護者の意見が伝わらないまま進められた。学校づくりに関して反省やその後の検討する場がない。検討する場を行政側から示してほしい。</p>	<p>区政会議において、いただきますご意見等やニーズをしっかりと把握し、区民の皆様との協働による区政運営の実現に向けて、取り組みを進めてまいります。</p> <p>学校再編につきましては、条例に基づき各中学校区の学校再編整備計画を策定し、保護者、地域住民の意見を聴取するため、「学校適正配置検討会議」を開催し、ご意見を伺いながら取組を進めてまいりました。</p> <p>その中で、通学路の安全対策をはじめ、検討会議等でいただいたご意見につきましては、児童生徒のより良い教育環境の実現のため、関係機関とも調整を行い、できる限り必要な対策を取ってまいりました。</p> <p>新校開校後につきましても、教育委員会と連携し、新たな学校を支援してまいります。</p> <p>また、今後の学校再編の取組を進めていく際には、これまでの取組をしっかりと振り返り、今後の取組に生かしながら進めてまいります。</p>
古本委員	<p>隣に引っ越ししてきた人から挨拶もない、人間関係が希薄になっている感じがする。</p>	<p>—</p>
藪本委員	<p>生野区を災害に強いまちにしたい。防災訓練をやり続けることが大事で、廃校になる小学校を避難訓練用に1つ置いておいてもらうことは出来ないか。</p>	<p>廃校となった小学校跡地は、これまで小学校が担ってきた避難所機能や地域コミュニティ機能を継続することを前提に活用事業者を公募しており、防災訓練を継続的に実施いただけるよう取り組んでまいります。</p>

発言者	ご提言(要約)	区の考え方、対応(要約)
三木委員	鶴橋地域では、無線機・非常用電源3台を購入。防災に関して、各地域でどのようなハードの設備を整えているのか区役所として把握しておいてはどうか。	地域の防災のハード面での取り組みについては、防災訓練や、防災会議などでの情報共有を通じて、資機材や訓練方法などの効果的な活用を検討、支援してまいります。